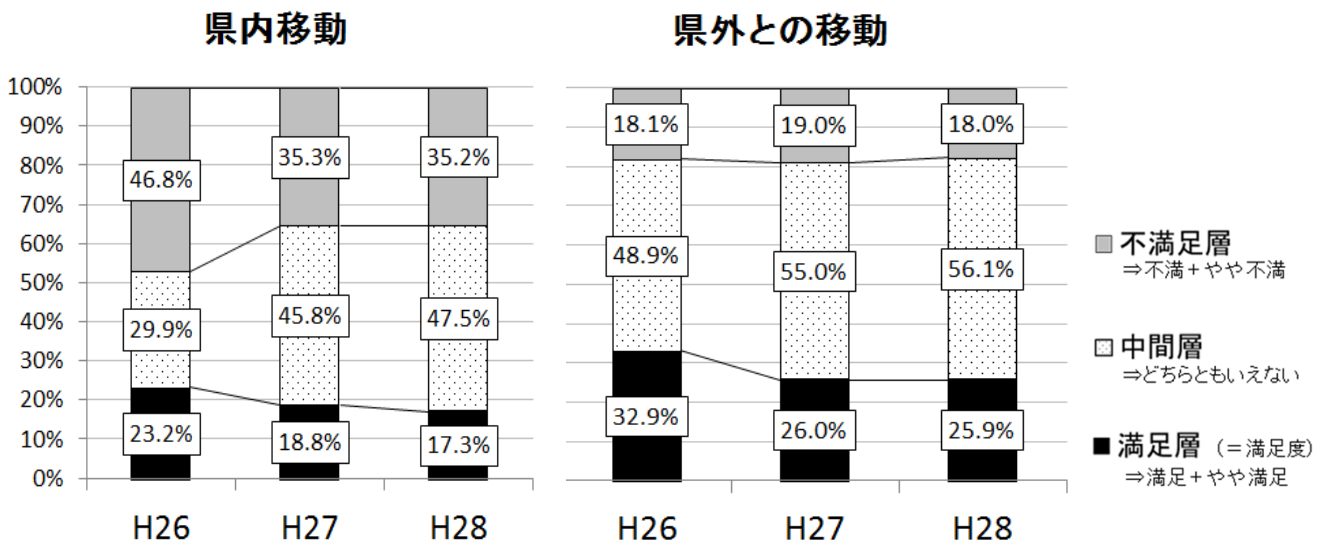


交通インフラに関する県民満足度調査 平成28年度 調査結果の概要

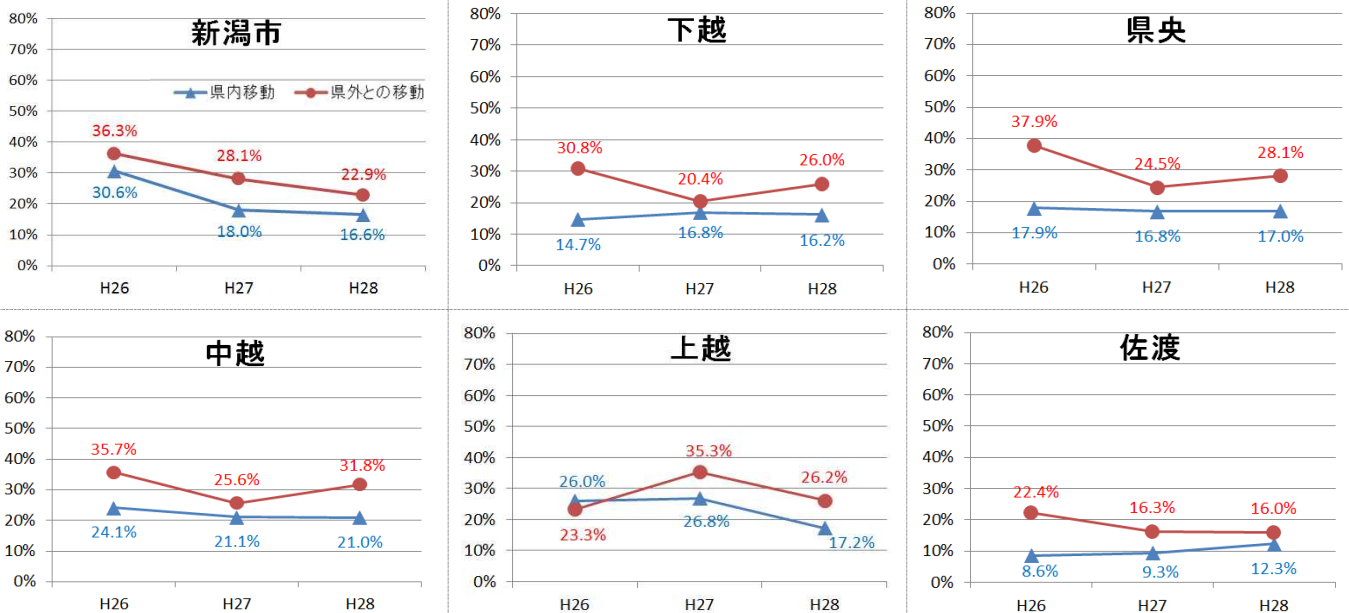
交通インフラ全般に対する満足度の推移

全
域



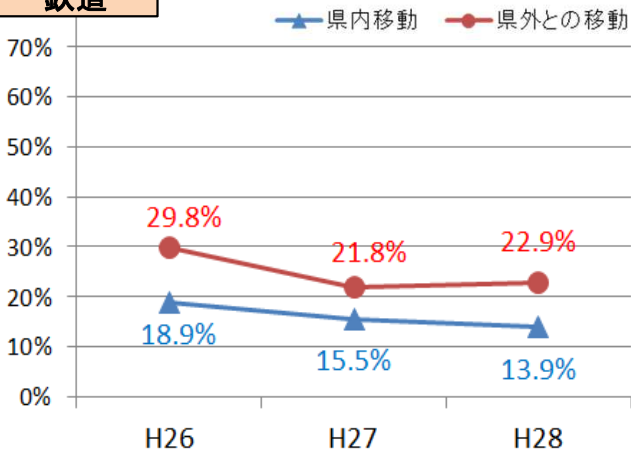
- 前回に引き続き、高速道路や新幹線等、高速交通網の利便性を評価する声が寄せられる一方で、バスや在来線等の利便性向上を望む声が寄せられた結果、県外との移動の満足度が県内移動のそれを上回りました。
- 県内・県外のいずれの移動においても、不満足層及び満足層が減少又は横ばい傾向にある中、中間層が増加しています。

地
域
別

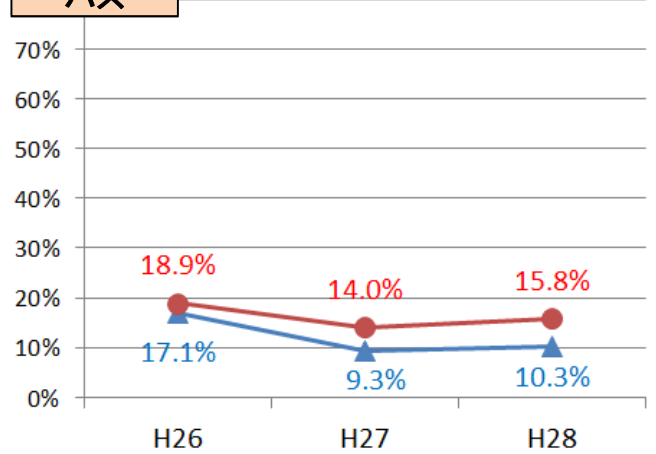


- 県内移動においては、上越において、上越～新潟市間の利便性向上を望む声が寄せられ、満足度が減少しました。
- 県外との移動においては、新潟市において、北陸方面へのアクセス改善を望む声が寄せられ、満足度が減少しました。また、上越において、北陸新幹線開業後、一定の期間が経過したことにより中間層が増加したことに伴い、満足度が減少しました。

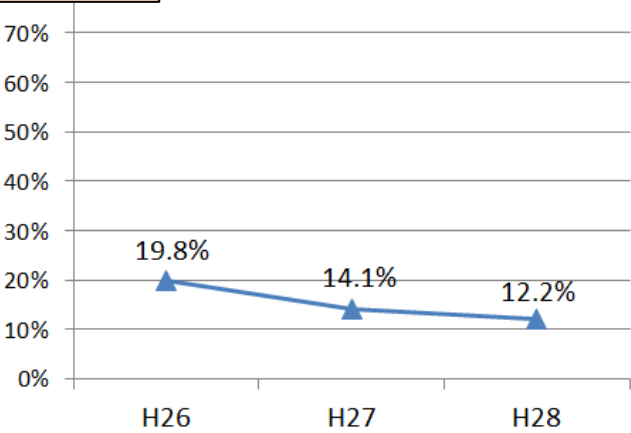
鉄道



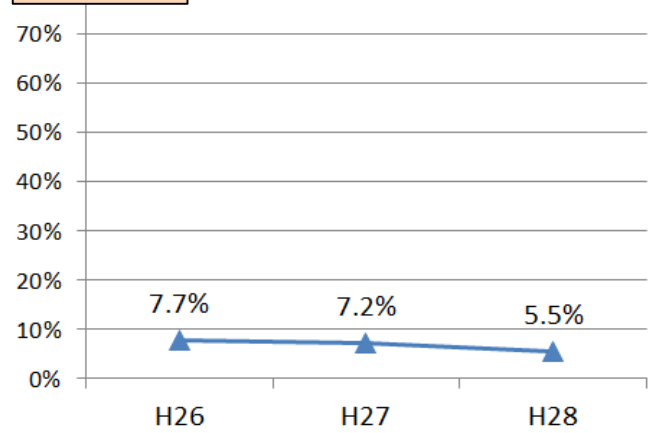
バス



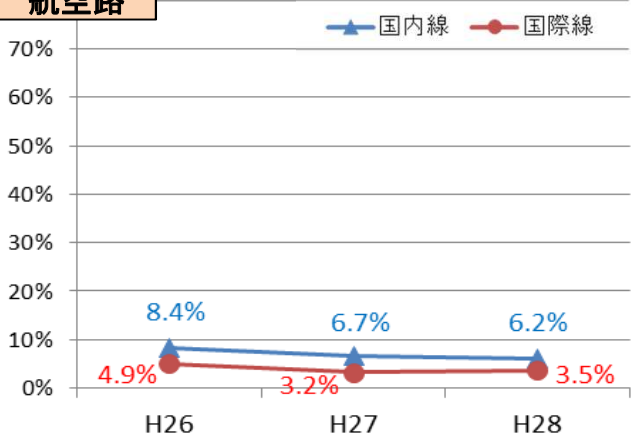
タクシー



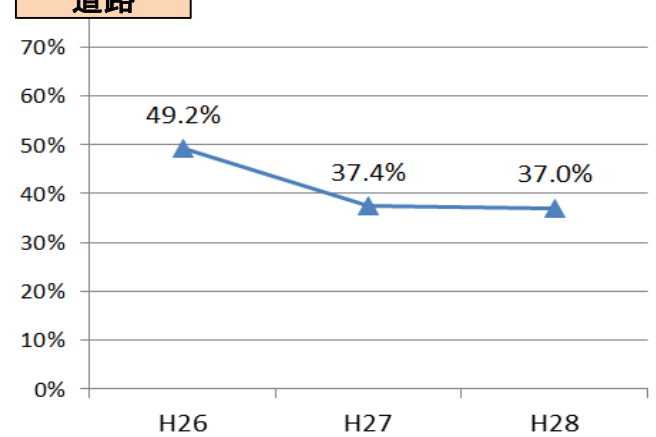
離島航路



航空路



道路



- 全てのモードにおいて、満足度は概ね減少又は横ばいで推移しています。
- これまで比較的高い満足度を示してきた鉄道において、運行本数や接続利便性の改善を求める声が寄せられ、県内移動の満足度が減少しており、全体の減少傾向につながっていると考えられます。